



Title	連続群ト函数方程式ト
Author(s)	北川, 敏男
Citation	全国紙上数学談話会. 1934, 2, p. none–none
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/73843
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

8. 連続群による方程式

北川敏男 (阪大)

南雪氏…極めて立派で或る種の組合せ函数方程式が連続群
二元関数の決定式である。さて、ソレから如何に進むかは、ユニバーサル
意見を述べさせてモラフコトニシマス。

ソレから問題は、連続群、型を決定する問題=外+ラ+イト思ふ
アス。ソレ、ユハ、アリ、 canonical parameter を決定する
コト=外+リマセん。

外ハバ、南雪氏が共立社数学講座で説明サレタ
 $f(x, f(y, z)) = f(f(x, y), z)$ (若干条件、モテ) プル
トガ $f(x, y) = \varphi^{-1}(q(x) + q(y))$ これがカギルトイ事も
決局、一次元連続群の canonical parameter のコト=コレ
 $x = x + t$ ト 同列トリト何ニト、説明ト同じ事デス。

ソレ故、二次元連続群、如く、Kerékjártó 定理ニヨリ 型、決定サ
レタモ、ニツ行ハ、同様に定理が成立スル。型が決定サレテキナイト。
函数方程式論、一步も進メナリトニハ。

又、始x=0 へラベル 函数方程式ニヨリハ、ソレ還元結果
一般、n次元連続群デナウ。アル種、條件、ワク連続群
ニ到達スル。例ハハ特ニ、 commutative トイ性質ヲモ
タモニタル —— 南雪氏が Göttingen Nachrichten デ解カレタ
モハ、結局ソウイ趣向、モテナリカワカト思フテテル
コウ考ヘテクルト、コト種、函数方程式論、連続群一ノルマテ
一日、行程トスハ、ソリカハ一年、行程デアロウ。

小生モ書カテ、数物常会(本年一、二月)テ、ニ次元連続群、
Kerékjártó 定理; 烧直ヒトテ、函数方程式ニワクテ 一言述
ベサセモテカワ事ガアルヂ; 話ニ、ワラヌ事ヲ書キカラベマシタ。

(七月十六日)